


コンクリートと 相性の良い ねじ・ビス

壁の種類と 主な使用場所	モルタル・コンクリート 室内・外
壁の特徴	外壁などに使用される壁材。 ねじ・ビスで直接取り付けできません。
相性の良い ねじ・ビスと その特徴	樹脂製プラグ 
	コンクリート・モルタル・タイル・ブロックなどに 使えます。 穴の大きさや長さを自由に選べるので 浅いところにも対応できます。

手すりの選び方

あなたにぴったりの手すりを選びましょう。

まずは
太さ

手すり棒の太さは一般的に35ミリと32ミリがあります。実際に手すり棒を握って、どちらが握りやすいか確認しましょう。

**35
ミリ**



**支え
やすい**

**32
ミリ**



**握り
やすい**

ディンプル付の手すり棒は握りやすい形状です。

ワンポイントアドバイス

コンクリートの壁に 手すりを付けるには？



コンクリート用ドリルで
コンクリートに下穴を開
けます。



コンクリートプラグ

下穴にコンクリートプラ
グを差し込みます。



ブラケット
(受け金具)

プラグに木ねじをねじ込
みます。



手すりの 取り付け

Q. 手すりを取り付ける時の
ちょうどいい高さは？

A. 廊下や階段の手すりは
床から70~80cm
程度の高さを目安に
すると良いでしょう。



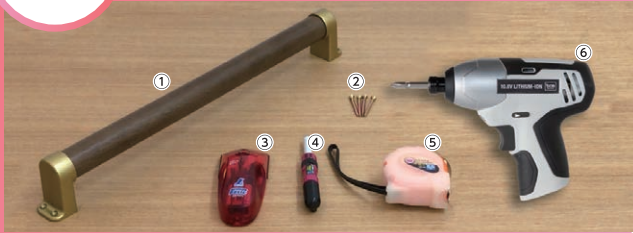
- 柱の探し方
- 手すりの取り付け位置
- 手すりは柱に取り付ける
- コンクリートと
相性の良いねじ・ビス
- 手すりの選び方
- ワンポイントアドバイス

やってみよう!

準備はできましたか?

準備

- ①手すり ②ねじ ③下地探し(センサータイプ)
- ④下地探し(突きさしタイプ) ⑤メジャー
- ⑥電動ドライバー



柱の探し方

壁にフックや手すりを取り付ける場合は、壁の内側の柱がどのあたりにあるかを事前に調べ、確実にその上に取り付けましょう。

「壁内センサー」で位置をキャッチ

音と光で柱の位置をキャッチできるのが壁内センサー。インテリアや日曜大工にこだわる方におすすめです。



「下地探し」の手応えでキャッチ



垂直 手応えあり...下地材あり→

垂直 手応えなし...下地材なし→

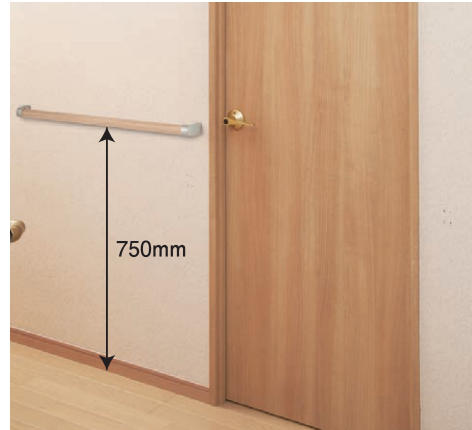
先端に付いた針を壁に垂直に差し込んで、手応えがあれば裏側に柱があり、なければ何もなし。わかりやすくコンパクトな道具です。

叩いて音で確認

詰まった音をするのは柱がある棧の部分。それに対して、ごく普通の音をするのは空洞部分です。

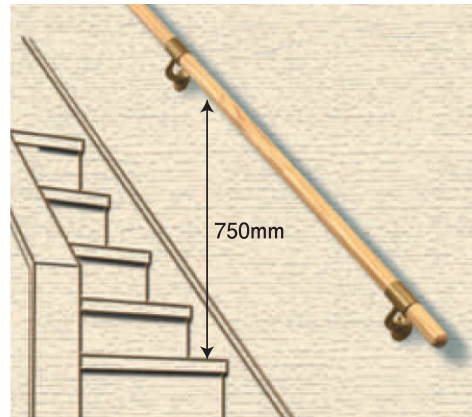
手すりの取り付け位置

廊下



歩行時に手を添えて握るように使います。

階段

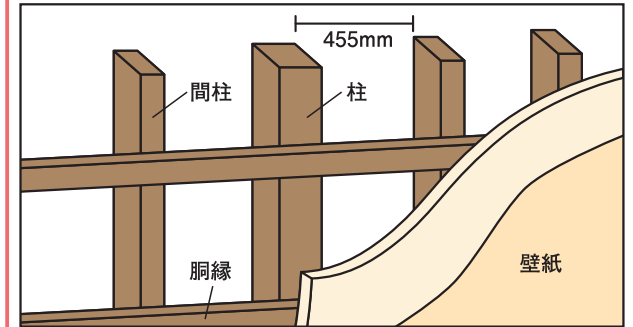


立ち上がる時に握って使います。

トイレ

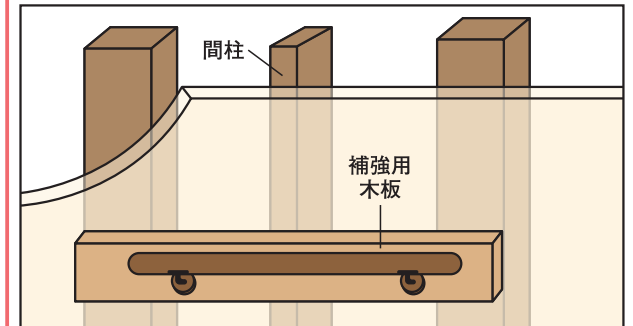


手すりは柱に取り付ける



石膏ボードや合板の壁は、イラストのような構造になっています。そこで手すりを取り付ける時は、455mmごとにある柱に確実にねじを打っていく必要があります。
※柱と間柱の間隔が333mmの場合もあります。

柱のない場所に手すりを取り付けたい時



補強用の木板を柱にしっかり取り付けて、その上から手すりを取り付けます。

下穴の 開け方

壁にねじやビスを取り付けるには、電動ドリルで下穴を開けておく必要があります。ドリルは大きく分けて2種類ありますので、壁の種類に合うものを使いましょう。



●振動ドリル



●一般ドリル

ブロックやコンクリートのパネルに穴を開ける時に使用。

石膏ボードやALCパネルに穴を開ける時に使用。